

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名: 就労支援サービス			担当教員 氏名: 司・正幸			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	講義	選択必修	社会福祉士国家試験基礎受験資格(選択必修)
実務経験を用いてどのよ うな授業を行っているか: 6コマ目に2グループに分け、テキストの就労事例をケアマネジメント手法(インテーク、アセスメント、プラン ニング、介入、モニタリング)で分析記録、発表してアドバイスを受ける就労実習の演習を実施する。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
相談援助活動において必要となる就労支援制度について理解する。就労支援に係る組 織、団体及び専門職について理解を深め、就労支援分野との連携について理解する。						連携、制度、労働情勢 就労支援
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 8. 9	
A 知識・理解力			就労支援制度の概要を知る。			
B 専門的技術			関係機関との連携をとりながらそれぞれの役割を学ぶ。			
C 論理的思考力			法律や制度の理解を深め、支援の流れを学ぶ。			
D 問題解決力			問題解決に向けての手法とケアマネジメントの理解を深める。			
H コミュニケーション力			本人をとりまく環境を調整する総理解力を身につける。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 60 %		レポート: 35 %		発表: %		実技試験: % その他: 5 %
特記事項: その他とは授業の出席状況や受講態度のことである。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適時レポート評価を行う。最終講義の次週に試験を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験結果手渡し実施。毎回講義後の感想を踏まえた次回講義実施。						
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)	
					学習内容	学習に必要な 時間(分)
①働くことの意味と社会福祉士の役割 雇用・就労の動向と施策 (1) 労働市場の変化 (2) 労働に関する法律と制度					【予習】教科書(働くことの意味と社会福祉士 の役割)を読む 【復習】①の復習	60分
②障害者と就労支援 (1) 障害者の就労の現状 (2) 障害者福祉施策における就労支援 (3) 障害者雇用施策における就労支援					【予習】教科書(障害者と就労支援)を読む (1)(2)(3) 【復習】②の復習	60分
③障害者と就労支援 (4) 特別支援学校における就労支援 (5) 民間の取組み (6) 諸外国の取組み					【予習】教科書(障害者と就労支援)を読む (4)(5)(6) 【復習】③の復習	60分
④低所得者と就労支援 (1) 低所得者等の就労支援の現状 (2) 低所得者等にかかる就労支援					【予習】教科書(低所得者と就労支援)を読む 【復習】④の復習	60分
⑤専門職の役割と実際 (1) 障害者福祉施策における専門職の役割 (2) 障害者雇用施策における専門職の役割 (3) 低所得者等の就労支援における専門職の役割 (4) その他の収録支援の従事者					【予習】教科書(専門職の役割と実際)を読む 【復習】⑤の復習	60分
⑥就労支援の連携と実際 (1) 連携の過程 (2) 連携の意義 (3) 連携の実際					【予習】教科書(就労支援の連携と実際)を 読む 【復習】⑥の復習	60分
⑦さまざまな働き方の支援					【予習】教科書(さまざまな働き方の支援)を 読む 【復習】⑦の復習	60分
⑧まとめ					【予習】就労支援サービス全体の復習をする	60分
使用テキスト: 新・社会福祉士養成講座 第18巻「就労支援サービス」 中央法規出版					その他参考文献など: 厚生労働省編「労働経済白書 平成28年度版」(日経印刷) 日本経済新聞 厚生労働省 『「福祉から雇用へ」推進5か年計画』	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 就労支援における社会福祉士の役割を学びましょう。積極的に授業に臨んでください。						